

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：広報費

事業名 鹿児島県交流事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

知事直轄 広報課 管理広聴係 電話番号：058-272-1111(内2133)

E-mail : c11103@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,400 千円 (前年度予算額： 1,400 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	1,400	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,400	0	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 1753年に木曾三川の治水工事において、大きな犠牲を払いながら流域住民を洪水から守った薩摩藩士の偉業を縁に、岐阜県と鹿児島県は昭和46年に全国初の県同士の姉妹県盟約を締結し、両県間の各方面で交流が続いている。
- 岐阜県は、鹿児島県との交流を深めることを目的として、代表的な民間交流団体である「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」に昭和43年から鹿児島県交流の事業経費の一部を交付している。
- 顕彰協議会が行う事業は姉妹県交流の根幹をなす事業で、継続して実施する必要があり、本交付金は業務の遂行に必須である。

【「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」の概要】

岐阜県薩摩義士顕彰協議会

構成員 31団体(県、木曾三川流域市町等)

役員 18人 会長：松永 清彦、副会長：岐阜市長、海津市長

顧問：知事、県議会議長

理事：県議会副議長、大垣市長等

監事：海津市副市長、

岐阜県出納事務局出納管理課長

事務局 岐阜県広報課

事業内容 薩摩義士の偉業の顕彰等

(2) 事業内容

「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」が、薩摩義士の偉業を称え鹿児島県との交流を深めることを目的として、下記の事業を行う。

- ・春季顕彰 毎年4月25日（海津市）
- ・鹿児島県薩摩義士顕彰会交流事業 每年5月25日（鹿児島市）
- ・秋季顕彰 每年10月25日（海津市）
- ・薩摩義士顕彰のための協賛事業

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	1,400	「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」への交付金
合計	1,400	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

50年以上にわたり姉妹県盟約を結んでいる鹿児島県との交流を今後も継続し、両県の交流を深めることを目標にしている。また、交流を通じて、ふるさとの歴史を未来へ伝え、ふるさとへの誇りと愛情を育てていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

事業成果が数値で把握するにはなじまない性格のものであるため

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」は、鹿児島県との交流を推進してきた代表的な民間団体であり、同会の事業をきっかけとして、各種団体においても鹿児島県との交流が広がってきたことから、本県では同会の事業運営に要する経費を交付している。なお、同会が実施している事業は下記のとおりであるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、主要事業（1）～（2）は実施できず、主要事業（3）は規模縮小で開催した。
	（1）春季顕彰の実施 令和4年4月25日（月） 海津市
	（2）鹿児島県薩摩義士顕彰会交流事業の実施 令和4年5月25日（水） 鹿児島市
	（3）秋季顕彰の実施 令和4年10月25日（火） 海津市
	（4）薩摩義士顕彰のための協賛事業 新型コロナウイルス感染症の影響により規模縮小などの対応となったものの、各種団体において、次代を担う青少年の交流をはじめ、教育、文化、経済など様々な分野で鹿児島県と交流を行った。本事業を継続することで、鹿児島県との交流が今後も深まることが期待される。

令和5年度	<p>「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」は、鹿児島県との交流を推進してきた代表的な民間団体であり、同会の事業をきっかけとして、各種団体においても鹿児島県との交流が広がってきたことから、本県では同会の事業運営に要する経費を交付している。なお、同会が実施している事業は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 春季顕彰の実施 令和5年4月25日（火） 海津市 (2) 鹿児島県薩摩義士顕彰会交流事業の実施 令和5年5月25日（木） 鹿児島市 (3) 秋季顕彰の実施 令和5年10月25日（水） 海津市 (4) 薩摩義士顕彰のための協賛事業 <p>各種団体において、次代を担う青少年の交流をはじめ、教育、文化、経済など様々な分野で鹿児島県と交流を行った。本事業を継続することで、鹿児島県との交流が今後も深まることが期待される。</p>
令和6年度	<p>「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」は、鹿児島県との交流を推進してきた代表的な民間団体であり、同会の事業をきっかけとして、各種団体においても鹿児島県との交流が広がってきたことから、本県では同会の事業運営に要する経費を交付している。なお、同会が実施している事業は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 春季顕彰の実施 令和6年4月25日（木） 海津市 (2) 鹿児島県薩摩義士顕彰会交流事業の実施 令和6年5月25日（土） 鹿児島市 (3) 秋季顕彰の実施 令和6年10月25日（金） 海津市 (4) 薩摩義士顕彰のための協賛事業 <p>各種団体において、次代を担う青少年の交流をはじめ、教育、文化、経済など様々な分野で鹿児島県と交流を行った。本事業を継続することで、鹿児島県との交流が今後も深まることが期待される。</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	50年以上の歴史を重ねた鹿児島県との交流を今後さらに深めるため、また薩摩義士の偉業を風化させることなく未来へ伝えるためにも、本事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」の実施する事業を契機として、各種団体において、青少年の交流をはじめ、教育、文化、経済など様々な分野で鹿児島県との交流が活発に行われている。また、平成27年の両県知事懇談会で新たな交流が合意されたことに続き、平成28年にも両県知事が面談し、互いを訪問し両県の交流を一層緊密にすることで意見が一致している。 また、姉妹県盟約締結から50年を迎えた令和4年にも両県知事が面談し、これまで培ってきた両県交流・連携事業の継続・深化に向けて合意した。

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 1	本事業の交付対象団体である「岐阜県薩摩義士顕彰協議会」は、簡素に事業を実施しており、効率化が図られている。
-----------	---

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

各種団体がそれぞれの分野で進めている交流が継続・充実されるよう引き続き連携・協力の内容等を検討していくことが必要である。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

本事業を継続し、各種団体と連携・協力を維持していくとともにそれぞれ実施している交流の継続・充実を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	